

生活支援コーディネーターの配置について

I はじめに

- ・第4回協議会（平成30年5月24日）に、「生活支援体制整備事業の 実施について」の審議をお願いしたところ、第2層生活支援コーディネーターの配置については、住民の利便性への配慮や施設機能集約の観点から、八戸市内12か所の高齢者支援センター職員が兼務するという方向性がまとまったところである。

※なお、第1層生活支援コーディネーターは八戸市高齢福祉課の島田、山口の2名となっている。

- ・協議会での決定を受け、高齢者支援センターを運営する法人に第2層生活支援コーディネーターの推薦を依頼したところ、下記のとおり回答があった。

II 第2層生活支援コーディネーター候補者の一覧（24名）

法人名	包括名	担当地区	名前	職種
社会福祉法人 スプリング	福寿草	大館、東	川井 純子	主任介護支援専門員
			佐々木 廣平	看護師
社会福祉法人 同伸会	瑞光園	白銀南、鮫、 南浜	内澤 菜美輝	社会福祉士
			笹川 佳子	主任介護支援専門員
社会福祉法人 寿栄会	寿楽荘	市川、根岸	伊藤 信明	主任介護支援専門員
			井ノ上 洋一	社会福祉士
株式会社 ゆとり	ゆとり	南郷	下平 敦子	主任介護支援専門員
			磯島 祐美子	看護師
医療法人 康和会	ちょうじやの森	長者、 白山台	梶本 隆	主任介護支援専門員
			小林 紗知子	社会福祉士
一般社団法人 八戸市医師会	八戸市医師会	柏崎、吹上	中里 和江	看護師
			尾崎 景子	看護師
社会福祉法人 みやぎ会	みやぎ	三八城、 根城	坂本 美華	社会福祉士
			櫻橋 和加子	主任介護支援専門員
社会福祉法人 ファミリー	ハピネスやくら	田面木、館、 豊崎	小泉 明美	主任介護支援専門員
			佐藤 ひとみ	社会福祉士
社会福祉法人 八陽会	修光園	是川、 中居林	高奥 佳代子	社会福祉士
			林崎 絵里香	看護師
医療法人 仁泉会	えがお	白銀、湊	渡部 哲也	社会福祉士
			高田 恒	主任介護支援専門員
公益財団法人 シバ-リハビリテーション協会	はくじゅ	下長、上長	久保沢 光浩	社会福祉士
			佐々木 ひとみ	主任介護支援専門員
医療法人 杏林会	アクティブ24	小中野、 江陽	堀内 博子	主任介護支援専門員
			吉田 由美子	看護師

Ⅲ 第2層生活支援コーディネーター基礎研修

第2層生活支援コーディネーター候補者は40～50歳代の者が中心であるため、十分な業務経験や社会経験があると思われるが、万全を期するために生活支援体制整備事業及び八戸市の取組を伝える研修を実施した。

実施日時	平成30年7月23日 13時30分～15時00分 平成30年7月30日 13時30分～15時00分 ※高齢者支援センターの運営に配慮して同内容の研修を2回実施することとし、いずれかの回に参加してもらうこととした。
参加者	第2層生活支援コーディネーター候補者24名
内容	・生活支援体制整備事業の内容 ・生活支援体制整備事業の必要性 ・八戸市の取組 ・生活支援コーディネーターの活動 ※詳細は資料4

【参考】生活支援コーディネーターの資格について（地域支援事業実施要綱 P44～45 から抜粋）

（エ）資格・要件

地域における助け合いや生活支援等サービスの提供実績のある者又は中間支援を行う団体等であって、地域でコーディネート機能を適切に担うことができる者とする。

このように、特定の資格要件は定めるものでないが、市民活動への理解があり、多様な理念をもつ地域のサービス提供主体と連絡調整できる立場の者であって、国や都道府県が実施する研修を修了した者が望ましい。

なお、コーディネーターが属する組織の活動の枠組みを超えた視点、地域の公益的活動の視点、公平中立な視点を有することが必要である。

【参考】八戸市の生活支援体制整備事業のイメージ（第4回協議会・資料5から抜粋）

